

## 事業概略書

事業名	ヘルパーによる長時間の介助が必要とされている障害児等に対する支援の在り方に関する調査研究
事業目的	ヘルパーによる長時間の介助を必要とする障害児・家族の実態把握、及び障害児支援施設利用者の一時的帰宅中における「居宅介護」の利用実態把握をおこなうことで、障害児・家族に対する支援の在り方を検討するための基礎材料を得ることを目的として実施した。
事業概要	検討委員会を設置した上で、長時間介助を必要とする障害児・家族のサービス利用ニーズ、その障害児・家族の状態像、生活実態の把握を目的とした「ニーズ・生活実態調査（アンケート調査＋ヒアリング調査）」、障害児入所施設の入所者が一時帰宅する際の居宅介護等のサービス利用状況やそのニーズ、施設職員が行っている支援等を把握することを目的とした「障害児入所施設調査（施設向け／利用者向け）」を行った。
事業実施結果及び効果	<p>本調査研究事業にて、ヘルパーによる長時間のケアの提供が必要となる障害児の状態や家族の状況、必要となる場面について把握するとともに、自治体の運用に起因するサービスの利用制約や、サービス資源・人材不足等による制限、また、相談支援体制等の構築が十分でないことによるサービスに繋がること自体の難しさなど、長時間のケア提供だけではなく、既存サービスの有効的な利用や相談支援体制も含めた包括的な支援の必要性があらためて明らかとなったことから、長時間ケアを提供するサービスの創設だけではなく、障害児及びその家族のニーズに則した既存サービスの運用の必要性や地域生活支援事業のあり方について、国からの情報提供も含めた対応の検討に活用されることが期待される。</p> <p>また、障害児入所施設の一時的帰宅については、一時的帰宅中のサービス利用によって想定される影響として、「今までに一時的帰宅をしたことがある利用者が、一時的帰宅する頻度を増やすことができる」が約 5 割の回答となっており、また、利用者調査でも、これまでに宿泊を伴う一時的帰宅を行ったことがない利用者では、サービスを利用できることによって、「日帰りや宿泊を含む一時的帰宅ができる」「前向きに考えることができると思う」との回答の合計は約 4 割となっていることから、一時的帰宅におけるサービス利用のニーズ、有効性が確認でき、今後の施策検討に向けた材料となることが期待される。</p>
事業主体	郵便番号：105-8501 所在地：東京都港区虎ノ門 5-11-2 法人名：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 電話番号/E-MAIL：03-6733-3481 / t.shimizu@murc.jp